

「救急の日」府中地区救急法等講習会が開催されました！

救急の日及び救急医療週間の行事の一環として、地域住民等の救急医療及び救急業務に対する正しい理解と認識を深めるため、「救急の日」府中地区救急法等講習会が開催されました。

開催日時 平成29年9月7日（木） 13:30～16:00

開催場所 府中市保健福祉総合センター「リ・フレ」

主催 府中地区医師会、福山地区消防組合

後援 福山・府中地域保健対策協議会（広島県、府中市、地区医師会ほか）

参加者数 120名

● プログラム

13:30 開会あいさつ

府中地区医師会 谷 秀樹 会長

13:35 講演「高齢者の転倒・骨折について」

なんば医院 院長 難波 泰樹 先生

司会 府中地区医師会 武田 昌 副会長

14:30 寸劇「その救急車、本当に必要ですか？」

福山地区消防組合 府中消防署 救急隊

14:55 実技講習（心肺蘇生法の実技、AEDの使い方）

指導：福山地区消防組合 芦品消防署 救急隊

15:55 閉会あいさつ

福山地区消防組合 府中消防署 加藤 輝美 副署長

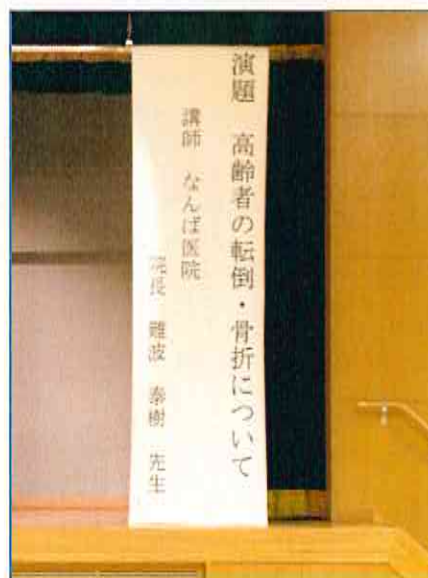
【 開会挨拶 谷会長 】



【講演】

なんば医院 院長 難波 泰樹 先生による「高齢者の転倒・骨折について」というテーマでご講演がありました。「転倒・骨折は、介護を受ける原因になる」・「骨のゴールドトライアングル」等、パワーポイントにより、わかりやすくお話していただきました。

〔 難波先生 御講演の様子 〕



【救急活動デモンストレーション ～その救急車、本当に必要ですか？～】

次に、福山地区消防組合 府中消防署 救急隊員が「その救急車、本当に必要ですか？」というテーマで、寸劇等により救急車の適正利用を呼びかけました。

【 デモンストレーションの様子 】



【実技講習(心肺蘇生法, AEDの使い方)】

続いて、福山地区消防組合 芦品消防署の救急隊員による、心肺蘇生法やAEDの使い方についての実技指導が行われました。受講者の皆さんは、人形や機器を使い心肺蘇生法の実技やAEDの使用方法について、真剣に学んでおられました。

【 実技講習の様子 】



【 閉会挨拶 加藤副署長 】

